

進路だより

第 3 号



令和3年12月23日

青森県立八戸東高等学校 進路指導部

◇公務員・就職の内定状況◇

今年度、公務員と就職を志望していた人たちの進路がすべて決まりました。内訳と2名の合格体験記を紹介します。



青森県警察官B	2名
自衛隊 一般曹候補生	2名
東京特別区職員Ⅲ類	1名
県内就職	2名
県外就職	4名

★北海道旅客鉄道株式会社（JR北海道）内定

私が JR 北海道を志望した時期は、3年生の8月だった。他の就職希望者と違って、決断が遅れてしまったのは、短期大学に進学するという進路を考えていたからだ。最終的に自分のやりたいことを考え、準備期間が短くても頑張ろうと思うエネルギーをモチベーションにして取り組むことにした。いわば、玉砕覚悟の思いだった。

個人面接、集団面接に向けては、自分の個性を出すように心がけて何回も練習した。具体的には、徹底的に自分を見直し、高校で何のために活動してきたのか、その活動で得られたもの、学んだことをノートに書いたり、周りの人に聞いてもらったりと、徹底的につき詰めた。何回も繰り返し練習をしたことで、本番ではイレギュラーな質問が来ても落ち着いて答えることができた。

また、JRをはじめ、多くの鉄道会社は、内田クレペリン検査とよばれる適性検査を行う。これは、簡単な1桁の足し算を1分毎に行を変えながら、合計30分間行う検査だ。私がした対策は、ひたすら足し算をする習慣をつけたことだ。教科書や本についているバーコードの数字を足す、車のナンバープレートの数字を足す。慣れてきたら Word にたくさんの数字をうちこみ、印刷して練習したりもした。

最後に、何をするにおいても重要なことがある。それは熱意である。なんとしてもこの会社に入社したい、なんとしてもこの活動をしたい、なんとしても達成したいものがある。目標を持ったとき、誰にも負けない熱意があなたにはあるだろうか。私は熱意があれば諦めることなく、やるべきことを見つけて改善し、這い上がることができると思っている。達成したいならば、熱意を持ってやってみよう。甘い考えを捨てて向き合ってみよう。皆さんの進路が達成することを願っています。

最後になりましたが、最後までご指導していただいた担任の先生をはじめ、多くみなさまに感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

★東京特別区職員 内定

私が、公務員試験を受けて大切だと感じたのは、様々な経験です。

公務員試験では、全教科まんべんなく出題されます。テストによっては、この学校では習わない地学が出るかもしれません。実際に問題を解いて、様々な問題を経験し、慣れることが必要だと思います。また、数的処理・数的推理といった、公務員試験特有の問題も出題されます。特にこの二つの対策は、時間をかける必要があると思います。一次試験の教養・適性試験は、練習量が成績に直結します。

また、面接では、志望動機はもちろんですが、自分が今までどのような経験をして、どのようなことを身につけたのか、またそのことを活かしてどのように仕事に取り組みたいのか、を伝えることが大事です。ボランティアや部活動での経験が一番身近で伝えやすいと思うので、積極的にボランティアに参加することをお勧めします。

事務を目指す人で一次を突破するのはほとんどが専門学生ですが、高校生でも練習をすれば合格ができます。恐れずに、自分の力を信じて頑張ってください。

2年生対象進路講演会

11月10日、前三本木高校長の長者久保雅仁先生を講師にお迎えし、2年生対象の進路講演会を実施しました。進路希望実現に向けて、社会学や心理学をまじえた話から、すぐに受験に役立つ話まで多岐にわたり、あっという間の70分でした。生徒たちが印象に残ったことや感想の一部を紹介します。

印象に残ったこと・今後実践したいこと

- ◇とりあえずやる、やる気が起きなくても机の前に座る。
- ◇全体の2割にあたる「基礎」を確実にすることが大事
- ◇受験は団体戦、一人じゃなくてみんなで頑張る。
- ◇学習のヴィジュアル化（可視化）
- ◇T O D O L I S Tを作り、優先順位をつける。
- ◇「分かる」から「できる」へ
- ◇予言の自己成就…できると思う、できないと決めつけない。



感じたこと・考えたこと

- ◇やろうと思ったら今すぐ動き、とりあえずやってみるということが大切だと思いました。プリントを捨てずにとっておいて自分がやってきたことが見えるようにしたり、T O D O L I S Tを作ったりするなど、今すぐできることから始めたいと思います。
- ◇今後「ちょこ勉」を大切にしたいと思います。隙間時間の活用は、やる気スイッチを入れるための一つの手段であり、志望校合格に近づくために重要だと思いました。今までよりも主体的に学習に取り組みたいです。
- ◇勉強の成果や成績の変化は目に見えないので、自分が今までやってきたことを可視化することで、継続や自信につながるということが分かった。やらされる勉強ではなく、「自分で選んでやる」という主体的な姿勢や、「まだできる」という考えを常に持つことが大切なのだと感じた。ひとりではなく、チーム八東で協力して頑張っていきたい。
- ◇80：20の法則はその通りだと思った。基本がおろそかになり、模試でも失点が多いのは、基本の2割を「分かる」のままにしているからだ分かった。今日から1つ1つ「分かる」から「できる」に代えるために基本を見直していきたいと思う。

大学入学共通テスト『一か月前集会』

12月14日、3学年共通テスト受験者を対象として、『一か月前集会』を実施しました。

進路指導主任からは、これからのスケジュールの確認とどのような心構えで向かえば良いのか、3学年主任からは一人ひとりの夢の実現のため、これから一か月を仲間と共に頑張っていこうという激励がありました。

共通テストまで残り32日、集会に参加した生徒たちの緊張感を持って真剣に話を聞く様子から、一人一人が決意を新たにできたように見えました。

※令和4年度大学入学共通テスト

令和4年1月15日（土）、16日（日）実施予定

